

平成14年2月15日

電気学会  
会長 原島文雄 殿

財団法人 服部報公会  
理事長 森 康 夫



### 「報公賞」受賞候補者の推薦依頼について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会は昭和5年11月に、わが国時計工業界の先覚者として知られる故服部金太郎翁によって、発明発見、学術研究、教育事業等を助成し公益に資することを目的として設立された公益財団であります。

現在は、専ら工学研究を奨励助成し、もって学術と文化との進歩発展に寄与することを目的として事業を行っております。これまで戦中戦後の混乱期にも一度も休むことなく事業を継続してまいりましたが、これも偏に各位ご支援の賜と深く感謝申し上げます。今後も事業の伸張に一層努力する所存でありますので、ご支援ご協力のほど願ひ上げます。

設立以来継続してまいりました優秀な研究成果を挙げた工学研究者に対する「報公賞」の贈呈については、本年もこれを実施いたします。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、別紙報公賞贈呈要領並びに同候補者推薦要領をご覧いただき、貴部内又は貴関係方面に最も適当と判断される候補者がおられましたら、何卒ご推薦賜わりますようお願い申し上げます。

敬 具

## 平成14年度「報公賞」贈呈要領

1. 報公賞の贈呈は工学の進歩に著しく貢献する研究を対象に行うもので、独創性と発展性の見地から工学の進歩への貢献度が特に顕著であると認められる研究業績を対象にします。
2. 報公賞は原則として1件を採用して、その研究者に報公賞金500万円を贈呈します。
3. 受賞候補者は満60歳未満（推薦締切当時）の者で、工学研究者および工学の基礎となる分野の研究者を含み、原則として他の著名な記念賞の受賞経験を持たない優秀な研究者に重点を置き、本会が推薦を依頼した研究機関または学会の長の推薦を受けた者とします。
4. 報公賞の選考は、下記審査委員を中心として、必要に応じ臨時の専門委員を加えた本会審査委員会が行います。

東京大学名誉教授・東洋大学理事長	菅野卓雄
東京大学名誉教授・中央大学理工学部教授	佐藤壽芳
東京大学名誉教授	小竹進
東京工業大学名誉教授	菊池實
東京大学名誉教授・帝京科学大学理工学部教授	瓜生敏之
東京大学名誉教授	工藤徹一
東京大学大学院情報理工学系研究科教授	田中英彦
5. 同一事項について、優秀な研究成果を挙げた者が複数あり、各々優劣をつけ難い場合には、報公賞を分割贈呈することがあります。また報公賞に該当する適当な候補者がいない場合は、授賞を見送ります。
6. 報公賞の贈呈式は10月9日（水）に行う予定です。

## 「報公賞」候補者推薦要領

推薦は別紙様式により、下記事項についてご記載下さい。

1. 推薦者 職名、氏名、研究機関名、郵便番号、所在地、電話番号
2. 受賞候補者 研究題目、研究者氏名、生年月日、現職、所属機関名、最終学校名、職歴、学位、郵便番号、現住所
3. 推薦理由 受賞対象の研究概要、独創性と発展性の見地からみた工学の進歩への貢献度の評価 等
4. 研究業績
5. 参考文献 受賞対象の研究に関する主要な論文・文書等（公にされたもの）を添付
6. 推薦締切期日 平成14年4月30日

尚、受賞決定候補者に対しては、贈呈式の席上で受賞研究の概要について講演をお願いする場合がありますので、予めその可否をお確かめの上ご推薦をお願いいたします。

様式(1)

報 公 賞 推 薦 書

受 付	No.
	年 月 日

年 月 日

財団法人 服 部 報 公 会 御中

1. 推 薦 者 職 名 <sup>と</sup> <sup>り</sup> <sup>が</sup> <sup>な</sup> 氏 名 ㊦

研究機関名

所 在 地 〒

電 話 番 号 ( ) 番

2. 受賞候補者 研究題目

氏 <sup>と</sup> <sup>り</sup> <sup>が</sup> <sup>な</sup> 氏 名 ㊦ 年 月 日 年 月 日 (満 歳)

現 職

所属機関名

最終学校名

職 歴

現 住 所 〒

3. 推 薦 理 由

参 考 事 項

- (注) 1. 別に様式(2)を用い 2,000字程度の研究業績を添付する。
2. 複写できるよう所定の用紙に黒インク又は黒リボンで記入する。
3. 提出期限4月30日迄に必着。



様式 (2)

候補者名	
------	--

研究業績

1. 研究業績の記載は2,000字程度のこと。
2. 黒インクを用いて下さい。

様式 (3)

候補者 氏名	
-----------	--

参 考 文 献

1. 研究業績の記載は2,000字程度のこと。
2. 黒インクを用いて下さい。